

研究協力をお願い

東近江総合医療センター南5病棟において、患者さまへ安全で安楽な療養環境を提供したいと考え本研究に取り組みます。南5病棟に入院されていた患者様の情報を用いて調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意は頂かずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への情報提供をご希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

≪課題名≫地域包括ケア病棟における転倒の要因分析

≪研究対象者≫2020年4月～2021年3月に転倒インシデントの発生した患者のうち、複数回転倒している患者で、日常生活動作において何らかの介助・見守りが必要であった患者8名

(1) 研究の概要について

研究課題名： 地域包括ケア病棟における転倒の要因分析

研究期間： 倫理委員会承認日 ～ 令和4年 2月 28日

実施責任者名：東近江総合医療センター 南5病棟看護師 瀬戸 春香

(2) 研究の意義、目的について

同じ患者の繰り返す転倒は、退院後も転倒のリスクを伴うため、入院時より早期から予防していく必要があります。昨年度の転倒インシデントについて分析を行い、根本原因を導き出し、得られた課題から転倒予防につながる取り組みを行うことで転倒事例の減少を目指します。

(3) 研究の方法について

2020年4月～2021年3月に転倒インシデントの発生した患者のうち、複数回転倒している患者で、日常生活動作において何らかの介助・見守りが必要であった患者8名の記録から分析を行います。分析結果を基に転倒の要因を抽出し、得られた課題から、重点的予防策を検討します。

(4) 個人情報の取り扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり、関りのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表するときも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の発表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 利益相反について

本研究は、特定の企業・団体等から資金を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

(7) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(8) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求める場合には、(2021年12月までに)下記(9)にご連絡ください。

(9) 問い合わせ等の連絡先

東近江総合医療センター 看護部

住所：〒527-8505 滋賀県東近江市五智町 255 番地

電話番号：0748 (22) 3030 (代表)

研究責任者： 南5病棟看護師 瀬戸 春香

南5病棟看護師長 宮地 聡子